

こ れ だ け は

はじめに

ネットいじめの怖さ

逃げ場がない

- ・場所、距離、時間帯に関係なく起こる

スピード性

- ・一晩で世界が変わる

リアルな関係を反映

- ・ネットだけで完結していない
- ・リアルの反動からの嗜虐性

匿名性

- ・相手の特定が困難
- ・被害者にも加害者にもなる
- ・なりすましもある



閉鎖性

- ・外部から発見しにくい
- ・裏アカウント等の存在

モラルの欠如

- ・罪の意識が薄い
- ・知識不足による誤解やトラブル

無責任な同調

- ・不特定多数と共有
- ・不確かな情報やフェイク

初期対応

「まず、これだけは！」

ネットいじめの相談を受けた

<いじめを受けた子が事実を知っているケース>

いじめを受けた子、 その保護者へ

①まずいじめを受けた子から聴き取り

- 「いつ」「どこで(何に)」「誰が」「どんなことを」
- 証拠の有無「**保存するまで消さないで**」
- 状況把握(どうして知ったか・拡散の状況など)



②心の寄り添い「**あなたを守る**」

③いじめを受けた子の保護者へ連絡

- 様子や状況の情報共有
- データを保存してもらう

※日時・内容・相手・URLやアプリ・会社名等が分かるように
※事実確認が終わるまで情報をむやみに広げないよう助言する

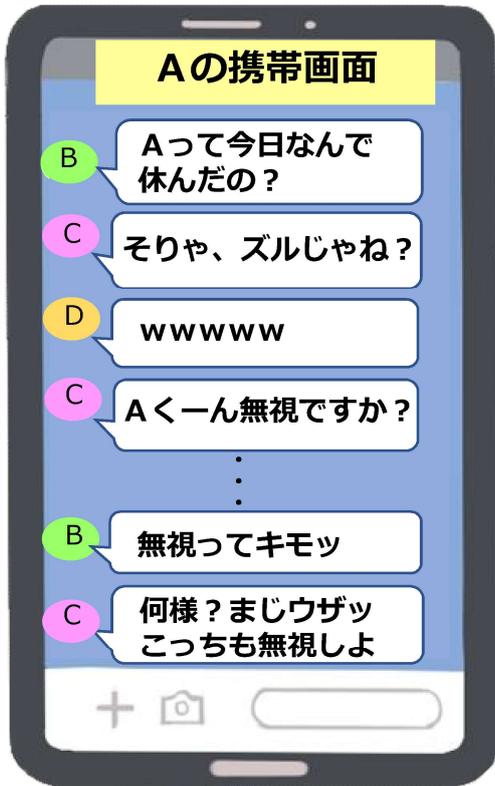
一人で悩まない
やり返さない

学習用タブレットがいじめ問題(事案)に関わる場合は、学校から
速やかに教育センターへ報告する(0565-48-2051)

事例1 グループトークに悪口を書き込まれた

内容

グループトークで、Aの悪口をB・C・Dが書き込んだ不安になったAが、次の日担任の先生に相談した



A・B・C・Dのグループトーク



A君の心の中をのぞいてみよう

後で返信しようと思っていたのに...

先生に言うと仕返しされないかな

嫌われちゃった悲しいよ

グループから抜きたいな

Dはどう思っているのかな

学校に行きたくないな



問題点

誹謗中傷する行為

証拠を簡単に消すことができる



いじめを行った子の判別が困難



リアルな生活にも影響



「悪口・書き込み」指導のポイント

当日の対応・証拠保存

1 いじめを受けた子

①聴き取り

- トーク内容は残っているか 相手は誰か
- 誰が知っているか どんなことが不安・心配か

②心の寄り添い(伝えたいメッセージ)

- 「**無理に返信しなくてよい**」「**やり返さない**」
 - 学校での見守り「あなたを守る」
- ※本人の辛い気持ちに寄り添う



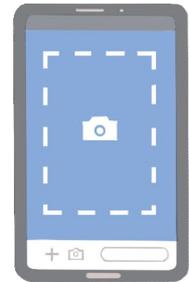
2 いじめを受けた子の保護者

①様子や状況の情報共有

②データの保存の依頼

- トーク内容（日時・前後の内容） 相手の情報
- ※証拠保存は**紙・画像・動画等で残す**とよい

③保護者の意向の確認



3 いじめを行った子

①事実の確認

- 「あなたが書いたものですか」と確認
- ※「なりすまし」のケースに留意する
- 書き込んだ理由・状況など

②指導

- 誹謗中傷は、いじめ・犯罪行為である
- 軽い気持ちで書き込まない



事実確認・対応

4 いじめを行った子の保護者

- 確認できた事実を伝える
 - いじめを受けた子・保護者の意向（削除など）を伝える
- ※他のトークメンバーへの周知、削除方法など相談にのる
- SNS等の使い方の改善など、家族への協力を依頼

事例2

画像を加工されて拡散された

内容

BはAの写真を加工した画像を、SNSに投稿して拡散した
それを知ったAは担任に相談した



【Aの写真】



A君の心の中を
のぞいてみよう

なんでBくんは
こんなことして
きたんだろう

写真を勝手に
使われて嫌だな

どこまで広がっ
ちゃうんだろう

仕返しして
やろうかな



聖徳A子(笑)

【Aの加工された画像】



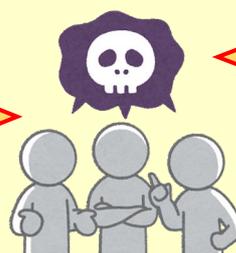
問題点

同意を
得ていない

知らぬ間に
広がってしまう



著作権・肖像権
侵害



二次被害を
生んでしまう



「画像の拡散」指導のポイント

当日の対応・証拠保存

1 いじめを受けた子

①聴き取り

- SNSのページや加工された画像など証拠はあるか
- 誰が関わっているか どんなことが不安・心配か

②心の寄り添い（伝えたいメッセージ）

- 「やり返さない」「無理に見ない」
- ※非表示やミュートで見えなくすることもできる
- 学校での見守り「あなたを守る」
- ※本人の辛い気持ちに寄り添う



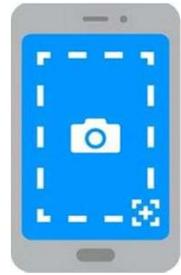
2 いじめを受けた子の保護者

①様子や状況の情報共有

②データの保存の依頼

- 拡散された情報（いつ・どこに・だれが）
- ※証拠保存は紙、画像、動画で残すとよい

③保護者の意向の確認



3 いじめを行った子

①事実の確認

- 誰が関わっているか
- 加工・投稿した理由・状況など

②指導

- 誹謗中傷は、いじめ・犯罪行為である
- 軽い気持ちで書き込まない
- 一度拡散してしまうと、すべてを消すことが困難である



事実確認・対応

4 いじめを行った子の保護者

- 確認できた事実を伝える
- いじめを受けた子・保護者の意向（削除など）を伝える
- ※データの削除等の相談にのる
- SNS等の使い方の改善など、家族への協力を依頼